

路上観察学会分科会通信

2020年8月号

『新国立競技場編』 実施日 2019年8月9日

今回の路上観察は新国立競技場の周辺です。今から1年前の2019年に歩きました。2020年の東京オリンピックのマラソンの日に合わせたにも関わらず、あっさり札幌に会場変更されてしまいました。さらに気づけばコロナウイルスの影響でオリンピックは延期になりました。一体なぜ我々はこの場所を歩いたのだろうか？とそんな疑問も抱いてしまいました。しかし、オリンピックをやると決めて疑わなかった一年前に思いをはせるのもまた面白いかと思っています。

路上観察学会分科会とは？

2014年11月11日に鈴木健介(舞台美術家)・ササマユウコ(音楽家)・山内健司(俳優)・松田弘子(俳優)を中心に立ち上げた団体である。本家「路上観察学会」の南伸坊氏と林丈二氏にも承認頂き、本家とはまたひと味違った視点で路上観察をしている。

ちよつと服短歌

一年後氷河期が来て木も鉄も曇った空に冷えているかも

松田弘子



8月9日朝。冷房の効いた部屋でスポーツドリンクを用意し、スマホを片手に待機。定刻6時を数分過ぎると、千駄ヶ谷駅に

「路上観察」の観察

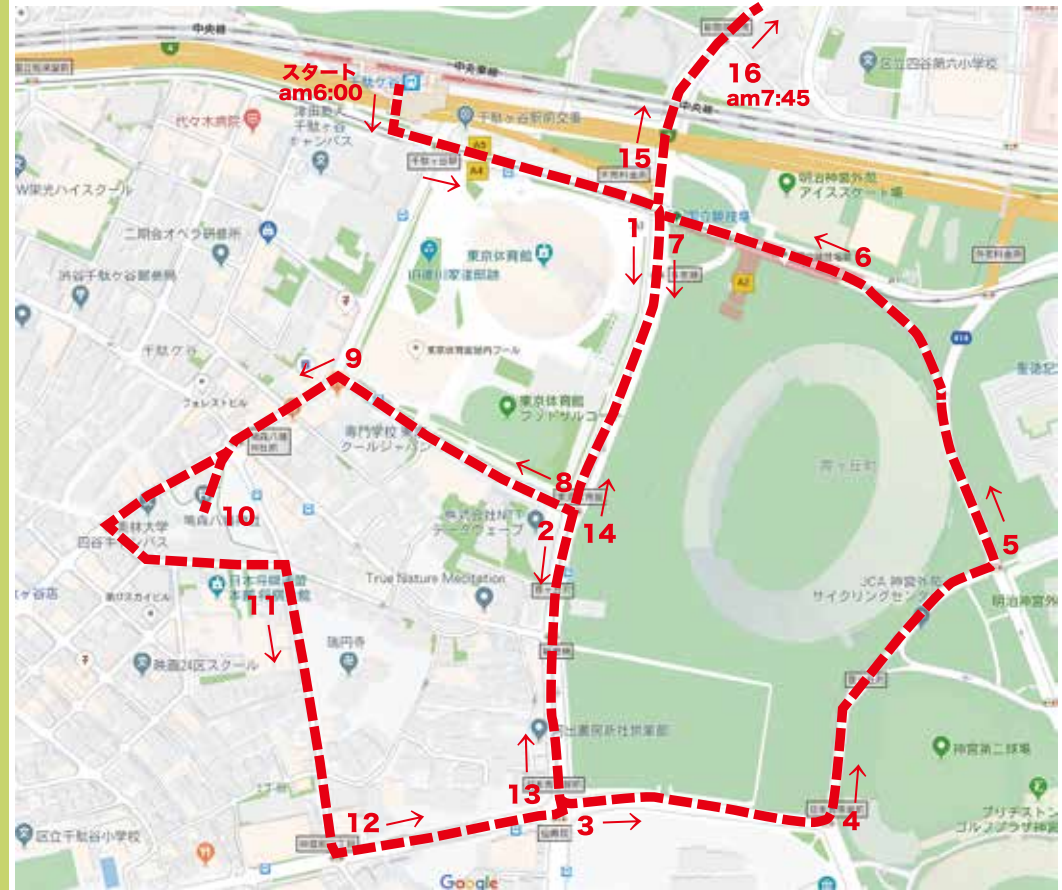
ササマユウコ

集合したメンバーたちの写真が「1年後マラソンスタート！」の一文と共にヤマケンから投稿された。前日から熱が下がらず頭はぼんやりしていたが、心はワクワクした。この感覚はなんだろう。VR路上観察の代理ロボット散歩？近未来的だ。画面のメンバーたちは楽しそうだが、現場は早朝でも暑い。
この日のちよつと1年後に東京五輪は終わる。建設中の「新国立競技場」での男子マラソンも予定されていた。と書くともっともらしい理由だが、多忙なメンバーたちの都合上、たまたま8月に集まった。「どうせ暑いなら」と五輪にちなんだ街の中から集合しやすい千駄ヶ谷が選ばれたが、本当は街はどこでもよかった。路上観察は「偶然の音楽」、一期一会を仲間と歩く芸術の時間

だと思っている。しかし今回は夏風邪で遠隔参加(？)となった。スマホでコメントし、時にクイズに答え、それはそれで楽しかったことが厄介な「問い」を生んだ。「参加」とは何だろう。はたして自分は今回の路上観察に「参加」したのだろうか。
間もなくスズケンから「写真が反転していた」と最初の集合写真が再投稿された。時刻は6時少し「前」。確かに写真を拡大すると時計の文字盤は逆さま、マチコさんの顔が少し違う。言われるまで気づかなかったが、実際、メンバーの顔はどちらが正解なのだろうか？写真を見比べながら今も混乱している。
(この文章は今からちよつと1年前、2019年8月に記したものです。)

路上観察ルート

実施日 2019年8月9日 am 6:00~8:00 くらい



編集後記

歩く事でその街が色々見えてきます。今回もこれをきっかけにオリンピックの事、神宮外苑の開発の事などいろいろと調べてしまいました。そうすると歩いていた時の肌感覚と相まって街がグッと浮かび上がってきますね。これだから路上観察はやめられません。(鈴木)

路上観察学会分科会通信 2020年8月号

編集 デザイン：鈴木健介

執筆：ササマユウコ・鈴木健介・松田弘子・山内健司

発行日：2020年8月15日

連絡先：suzuken27@gmail.com

ササマユウコ<音楽家>

サウンドスケープを「耳の哲学」に世界のウチとソトを思考実験中。音の散歩路上観察「はしもの空耳」(十西郷タケル『ネム/アソビ/アケ』11月14日)など。www.yukosamajimdo.com

鈴木健介<舞台美術家>

舞台美術研究工房六尺堂所属。桜美林大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。北区文化芸術活動拠点ココキタレジデンスアーティスト。現在舞台美術の仕事を中心に地域や社会に向けてのアート活動にも力を入れている。

松田弘子<俳優・通訳・翻訳(英語・日本語)・ダンサー・歌人>

現代口語演劇(青年団)、観客参加型演劇(あなざ事情団)の他、コココーラボで新しいアプローチを模索。自身のソロダンス公演も企画。最近の一首:あまもよい波にひかって跳ぶさかな海のガラスをさがして歩く。

山内健司<俳優>

劇団青年団所属。主にリアリズム演技。それを越えていくコンテンポラリーな演劇を探る。劇場の外で街や人と直接関わる作品・プロジェクトにも力を入れる。路上では、場所に降り積もる人の記憶にまみれる。